

施策名：スマート農業教育の推進

農林水産省就農・女性課
03-6744-2160 kyouiku@maff.go.jp

分野

農林水産業分野での未来技術の活用

総合戦
略該当
箇所

横2-1-(2)-iv

予算
額

令和3年度当初一般会計
①スマート農業教育推進事業 10百万円
②農業教育高度化事業 549百万円の内数

特徴・
ポイント

- ✓ ロボット、AI、IoT等の先端技術を活用した「スマート農業」は、生産性の向上と人手不足に対応する新しい農業の形として期待されている。
- ✓ このため、将来の農業の担い手として期待される農業大学校生や農業高校生のスマート農業に対する関心の醸成を図る。

目的

将来の農業の担い手を育成する農業大学校や農業高校等の農業教育機関において、
① 授業等で活用できるスマート農業教育コンテンツを活用した授業の実施
② スマート農業のカリキュラム強化や、スマート農業実習等により、スマート農業の普及や若者の就農意欲喚起を推進する。

概要

- ① 教育コンテンツの作成・提供
学生・生徒が、動画を見ながらスマート農業に関する基礎的な内容を学び、研修ほ場等において実習が可能となるような実践的なオンライン学習ツールの作成・提供
- ② 機械・設備導入、就農意欲喚起活動等支援
都道府県の農業教育高度化プランに位置付けられた、研修用スマート農業機械等の導入、スマート農業技術を活用している農業経営者の圃場における実習など学生・生徒の就農意欲を喚起する活動への支援

<期待される効果>

- ① 動画コンテンツを活用した授業を実施することにより、スマート農業に取り組んでいなかった農業教育機関においてもカリキュラム化が可能
- ② 教育機関やスマート農業技術を活用している先進農家での現場実習等により、若者のスマート農業への関心を醸成

<事業の流れ>

- ① 教育コンテンツの作成・提供



- ② 機械・設備導入、就農意欲喚起活動等支援



※農業機械、設備等の購入は補助率1/2以内

<対象事業のイメージ>

- ① 教育コンテンツの作成・提供

【内容例】

- ほ場でのデータの取得・分析方法
- ・耕種別のデータの取得方法
- ・取得したデータの分析方法 など
- 経営管理ツールの活用方法 など



- ② 機械・設備導入、就農意欲喚起活動等支援



スマート農業のカリキュラムを導入するため 高校への出前授業等に必要な機械等の導入を支援

活用事例

農業経営者による現場研修



ロボットトラクターの実演



ドローン操作説明

- 農業高校生へ、地元の農業法人経営者によるロボットトラクターの実演及び農業用ドローン操作体験を実施

スマート農業教育コンテンツの提供



- ・ スマート農業についての基本的知識等を学ぶことのできる動画コンテンツを作成し、R2年11月からHP上で公開。
- ・ 農業大学校や農業高校等の農業教育機関のみでなく、誰でも受講することが可能。

スマート農業加速化実証プロジェクトにおける実証事例



- 鹿児島県立鹿屋農業高等学校
スマート農業加速化実証プロジェクトのコンソーシアムの一員として参画。
さつまいも生産のスマート農業の実証として、ドローン空撮・防除や環境計測情報の取得・分析等を実施。